

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 内科

病院名・診療科名・研修プログラム名

沖縄県立南部医療センター内科専門研修プログラム（基幹型）

住所・ホームページアドレス・連絡先メールアドレス

沖縄県島尻郡南風原町字新川 1 1 8-1

ホームページ：<http://www.hosp.pref.okinawa.jp/nanbu/>

連絡先メールアドレス：nanbu_pgmecc@hosp.pref.okinawa.jp

指導医名・記載者名

指導医名：仲里 信彦

科の目標としている医師像

医師として継続的に学ぶ姿勢を持ち続け、診療を通して成長すること。また、チーム医療を実践できること。そして離島医療に貢献できるようになること。

スタッフ人数

内科スタッフ：男性21人、女性1人

後期研修医の人数

男性4人、女性1人

当直

約月6回（当直明けの帰宅はローテーション科によります）

診療科独自の病床数

内科の病床数は約150床ですが、外科系の成人部門との兼ね合いで増加があります。

勉強会やカンファレンスの開催曜日・時間とその概要

毎週火曜日7:30~8:30入院ケースカンファレンス、毎週金曜日7:30~8:30内科グランドラウンド、毎月1回業務終了後に近隣研修病院との初期研修医合同カンファレンス

具体的な研修・業務内容の紹介

研修内容：

新専門医制度開始後は以下ようになります。

- ・新臨床専門医制度に合わせて、専門医研修の最初の1年は、総合内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、腎・リウマチ内科、神経内科、血液内科、内科ICUなどをローテーションします。初期研修では足りなかった内科の基礎となるgeneral careをしっかりと身につけます。
- ・2年目は、沖縄県立病院の地域中核病院（八重山病院、宮古病院、北部病院）の連携病院で内科の総合的な研修を行います。
- ・3年目は、当院へ戻ってきて内科のsubspeciality研修を1年間行います。

研修終了後の主な進路

研修終了後は沖縄県立病院群の地域中核病院で1年間、自身の集大成として勤務します。その後は同病院での継続勤務もしくはその他の県立病院での勤務となります。

その他・自由記載

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター内科を紹介します。当院の歴史は新しく2006年4月に沖縄県立南部医療センター・こども医療センターとして、県都那覇のお膝元の南風原町に創設されました。成人診療だけでなく、ER型救急、小児専門病院、母子・周産期センター成人診療、さらには、精神科疾患の身体合併症に対応が可能となっています。開設3ヶ月後になんと“涙そうそう”の映画のロケがありました（しかし、内容では妻夫木聡演じた主人公を助ける事ができませんでした(T_T)）。

しかし、実際は皆頑張っています。

総合内科に興味がある方はホームページ <http://okinawa-gim.moon.bindcloud.jp> も参照ねがいます。

